

2011年3月期 決算説明会



東リ株式会社

2011年 6月 6日

本資料に関する注意事項

本資料に記載されている東リグループの計画・戦略・見通しのうち、歴史的事実でないものは将来の業績に関する見通しです。これらは、現時点で入手可能な情報に基づいた東リグループの仮定および判断によるものであり、実際の業績等は、さまざまな要因により、これらの見通しと異なる可能性があります。

目次

2011年3月期 決算概要

連結売上高・利益の推移	P.4
連結貸借対照表概要	P.5
連結キャッシュ・フロー計算書概要	P.6
連結主要項目の概要①	P.7
連結主要項目の概要②	P.8
連結セグメント別実績	P.9
東日本大震災の影響	P.10

中期経営計画 概要と進捗

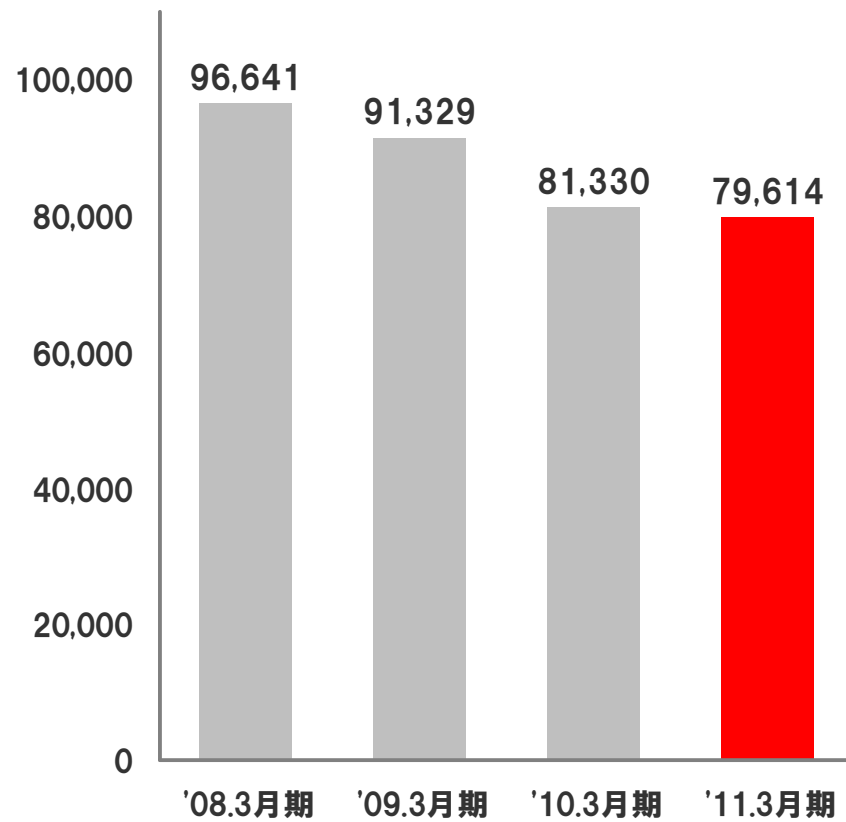
中期経営計画の概要	P.12
レジデンシャル市場攻略と事業拡大	P.13
環境対応力の強化	P.14
新分野への挑戦	P.15
対処すべき課題	P.16
2012.3月期 連結業績見通し	P.17
インテリア事業を通じて社会貢献	P.18

2011年3月期 決算概要

連結売上高・利益の推移

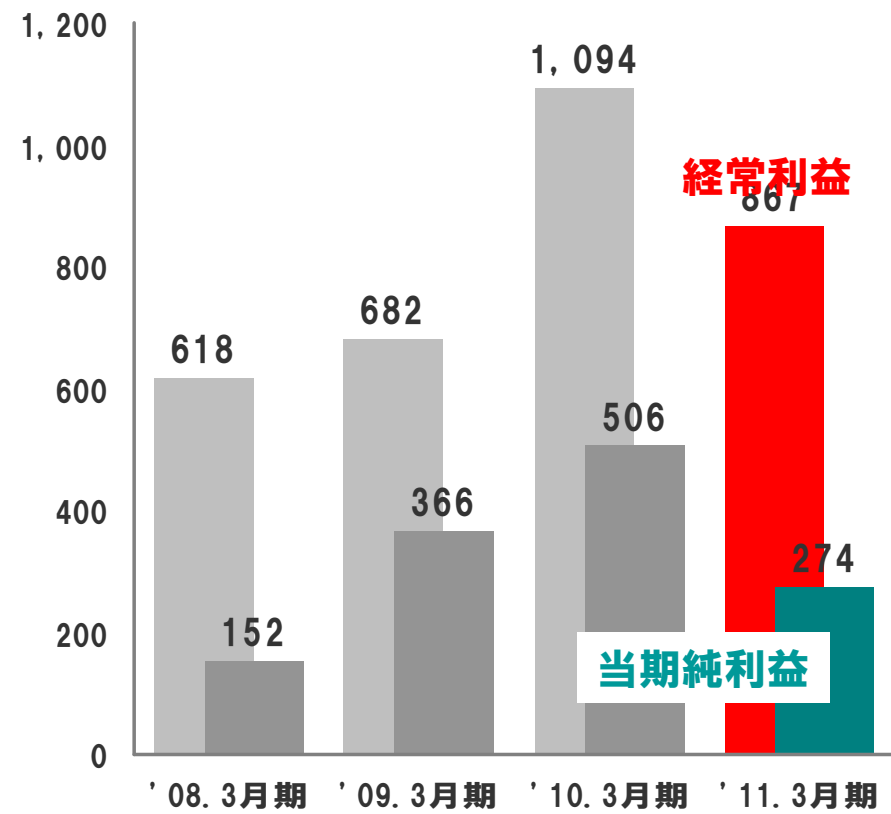
売上高の推移

(百万円)



利益の推移

(百万円)



連結貸借対照表概要

(百万円)

	2011年 3月末	2010年 3月末	増減		2011年 3月末	2010年 3月末	増減
流動資産計	39,759	39,320	439	流動負債	27,252	26,061	1,191
有形固定資産	16,506	17,504	△ 998	固定負債	12,357	13,969	△ 1,612
無形固定資産	792	1,034	△ 242	負債計	39,610	40,030	△ 420
投資他資産	7,093	7,102	△ 9	株主資本	24,001	24,205	△ 204
固定資産計	24,393	25,641	△ 1,248	純資産計	24,542	24,930	△ 388
資産計	64,152	64,961	△ 809	負債及び 純資産計	64,152	64,961	△ 809

【資産】	2010年3月末比	【負債】	2010年3月末比	【純資産】	2010年3月末比
・現金及び預金	△2,257	・一年以内返済		・自己株式	△162
・受取手形及び売掛金	+2,296	長期借入金	+900		
・建物及び構築物	△435	・長期借入金	△1,700		

連結キャッシュ・フロー計算書概要

(百万円)

	2011年 3月期	2010年 3月期	増 減
営業活動によるキャッシュ・フロー	454	4,556	△ 4,102
投資活動によるキャッシュ・フロー	△ 872	△ 1,821	949
財務活動によるキャッシュ・フロー	△ 1,838	△ 848	△ 990
現金及び現金同等物の増減額	△ 2,256	1,886	△ 4,142
現金及び現金同等物の期首残高	8,041	6,155	1,886
現金及び現金同等物の期末残高	5,784	8,041	△ 2,257

【営業活動によるキャッシュ・フロー】

- ・ 売上債権の増加 △2,276
- ・ たな卸資産の増加 △303

【投資活動によるキャッシュ・フロー】

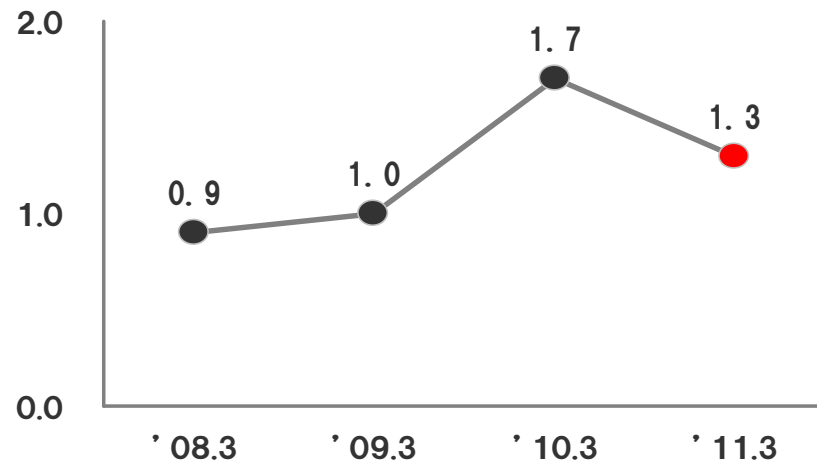
- ・ 有形固定資産の取得 △451
- ・ 投資有価証券の取得 △479

【財務活動によるキャッシュ・フロー】

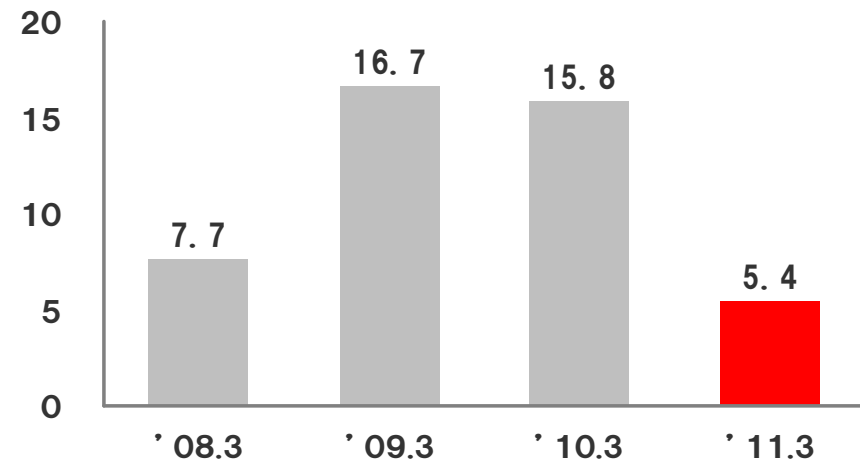
- ・ 自己株式の取得 △162

連結主要項目の概要 ①

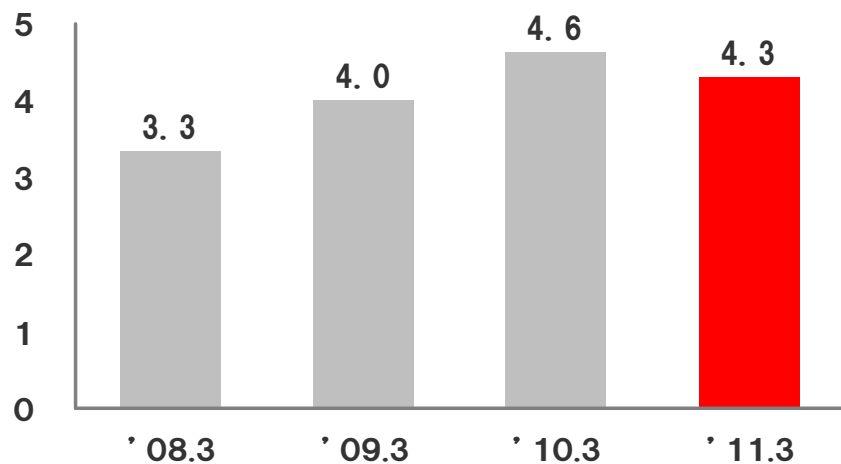
ROA 総資産経常利益率 (%)



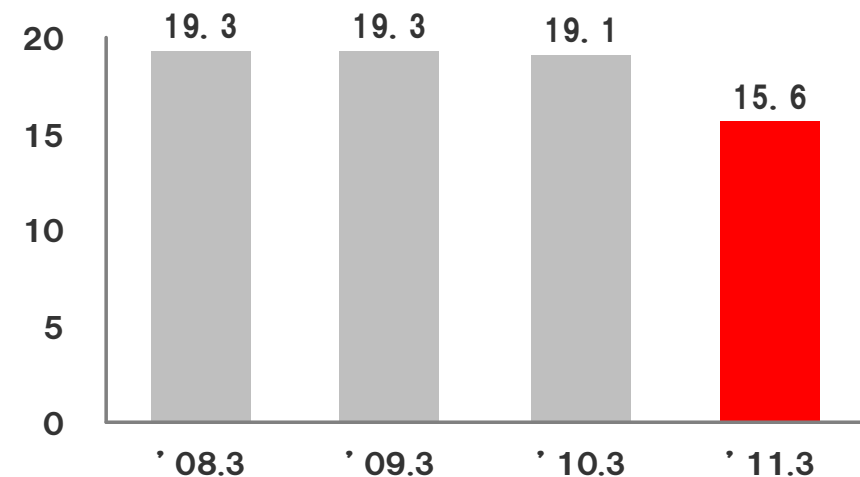
設備投資額 (億円)



研究開発費 (億円)

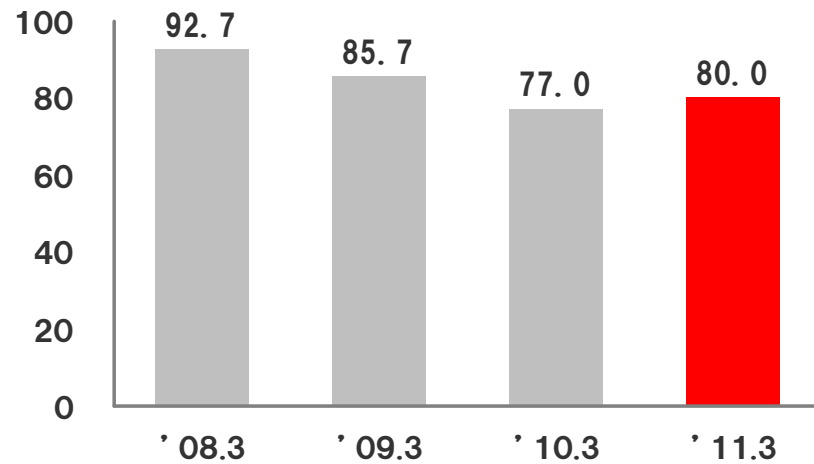


減価償却費 (億円)

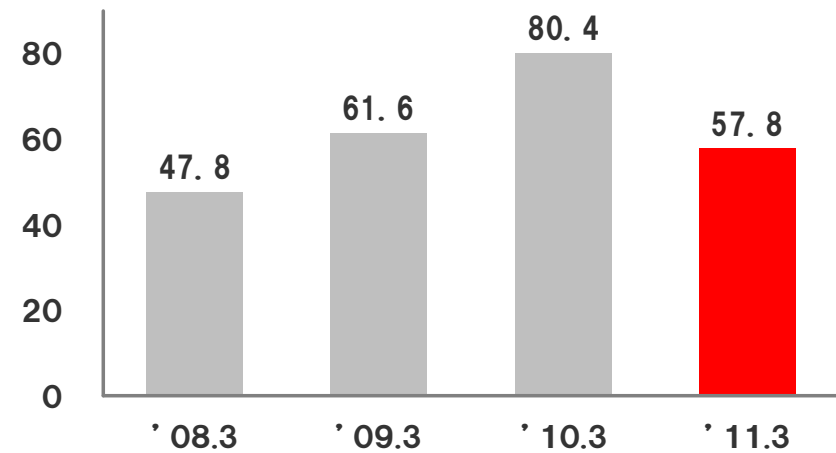


連結主要項目の概要 ②

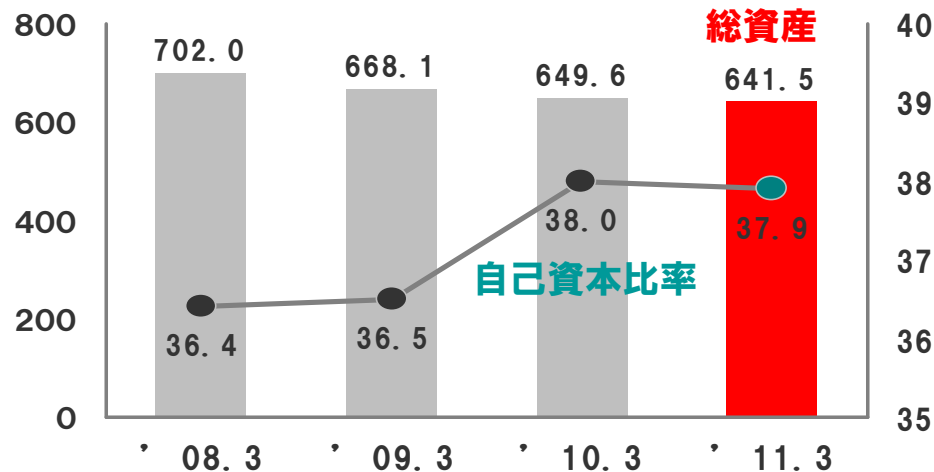
棚卸資産 (億円)



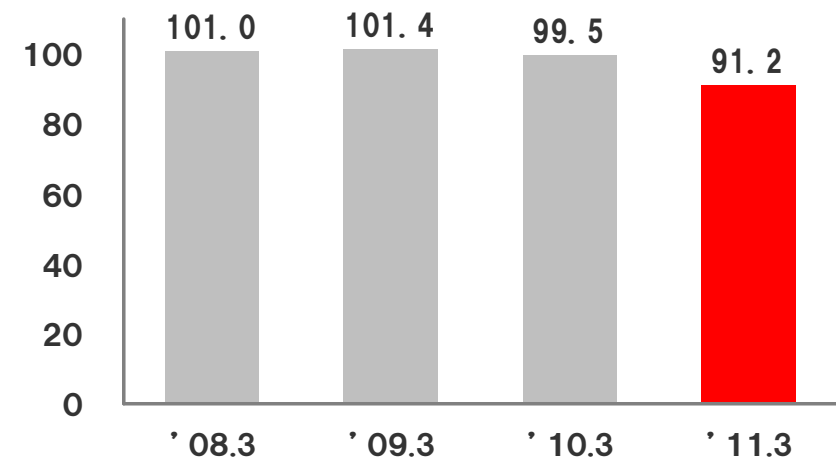
現金・現金同等物残高 (億円)



総資産、自己資本比率 (億円/%)



有利子負債 (億円)

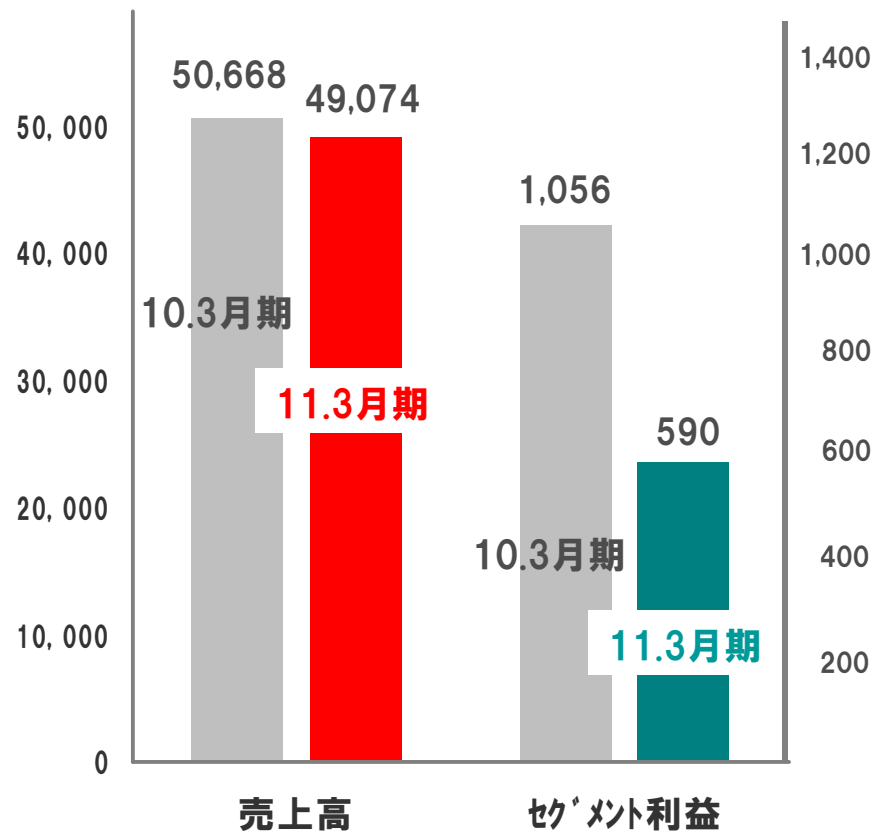


連結セグメント別実績

インテリア卸及び工事事業は、減収ながら経費削減の徹底により増益

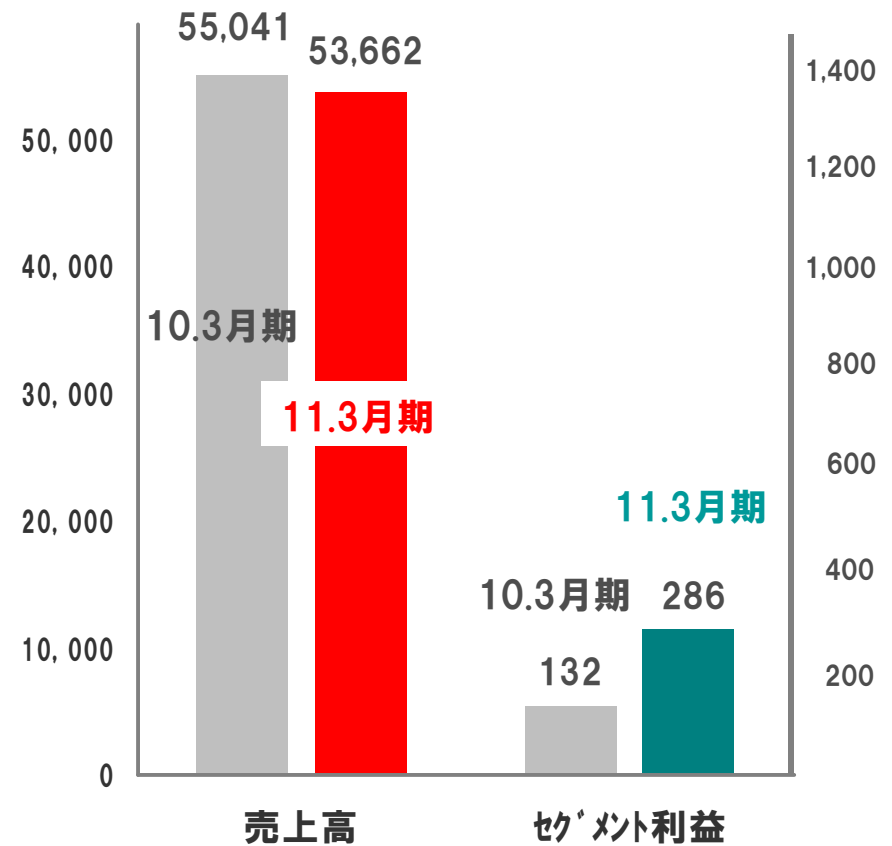
プロダクト事業

(百万円)



インテリア卸及び工事事業

(百万円)



＜災害による損失額＞

たな卸資産減耗損	12	百万円
減損損失	75	百万円
固定資産除却損	2	百万円
災害損失引当金繰入額	13	百万円
計	103	百万円

中期経営計画 概要と進捗

変革と挑戦 2011

変革を成し遂げ『創造的進化』に向けた積極経営を推進する

I.レジデンシャル市場攻略と事業拡大

II.環境対応力の強化

III.新分野への挑戦

1.レジデンシャル（住宅）市場攻略と事業拡大

莫大な住宅
(ストック)
市場

リフォーム
市場は今後も
堅調

フローリングが
住宅床材の
60%

住宅向け
商材が少なく
優位性低い

- ・ 機能性に優れた新製品の上市
… 浴室用床シートの開発・発売
- ・ 現有技術・商材の住宅用途への拡大・応用
… 簡単にリフォームできるフローリング調床材の開発・発売
- ・ 商材開発に向けた大量供給型企业への営業強化
… 特定住宅メーカー向け床材・タイルカーペットの開発・供給

II.環境対応力の強化

資源の
節約による
低炭素化

事業活動
における
低炭素化

人への配慮

- エコマーク取得品など環境配慮型新製品の上市
… 異業種連携によるリサイクル製品の開発・発売
- 工場設備でのCO2・消費電力削減
… LNGへのシフト
- 廃棄物削減の推進および工場内端材再利用率の向上
… サンプル帳からデジタルブックへ、リサイクルプラントの稼働増

5年～10年先に向けた“新たな収益の柱”を育む

- ・ 周辺市場・異分野との連携強化
- ・ 産学連携による分析・研究
- ・ 海外市場動向の調査・研究
- ・ 新規アイデア抽出風土の醸成

外部との積極的な業務提携、
特別プロジェクトによるリサーチ活動と戦略検討

環境変化への対応力強化

収益性の改善・成長性の確保

基本戦略とともに収益基盤強化のための施策を推進

- ① コア事業の再強化
- ② コストダウンの徹底
- ③ ストック市場への取り組み
- ④ 海外事業の強化
- ⑤ リスクへの対応

中期経営計画 最終年度（2012年3月期） 連結業績見通し

（百万円）

	'11年3月期	'12年3月期予想	増減
売上高	79,614	82,000	2,386
営業利益	919	900	△ 19
経常利益	867	800	△ 67
当期純利益	274	400	126

震災からの復旧・復興に貢献

- お客様が快適・安心に過ごせる空間のための機能性・デザイン性に優れた商品開発
- 原材料・資材の調達力、生産技術力を活かした品質の良い商品・サービスの安定供給
- 使用電力抑制への取り組み